

## 第10回 EASTS 台北会議

The 10th EASTS Conference in Taipei

西村 巧\* 粕谷ひろみ\*\* 牧村和彦\*\*\*

By Takumi NISHIMURA, Hiromi KASUYA and Kazuhiko MAKIMURA

### 1. はじめに

EASTS (Eastern Asia Society for Transportation Studies) は、隔年で国際会議を開催している。第10回 EASTS 国際会議は、2013年9月9日～13日まで台湾・台北において開催された。本稿では、国際会議の概要を紹介する。

### 2. EASTS

EASTS は、アジアにおける産官学の専門家が交通問題に関する議論、研究、人的交流を広く活性化させることを狙いとして、1994年に設立された学会である。これまでに、18の国と地域が参画し、会員数は1,400人を超えている。

EASTS は、単なる国際学会にとどまらず、各国／各地域に独自の学会を設立することにより、ネットワークとして機能している。日本においては、1995年に EASTS - Japan (アジア交通学会) が設立され、国際会議やシンポジウム等を通じて、アジア地域の交通専門家と活発な情報交換を行っている。

EASTS の国際会議は、1995年の第1回マニラ会議以降、隔年で開催されている。アジア地域の大学研究者だけでなく、行政や実務も含めた交通専門家の学術交流や情報交換の場を提供している。

表-1 EASTS 国際会議

	開催年	開催都市
第1回	1995年	マニラ (フィリピン)
第2回	1997年	ソウル (韓国)
第3回	1999年	台北 (台湾)
第4回	2001年	ハノイ (ベトナム)
第5回	2003年	福岡 (日本)
第6回	2005年	バンコク (タイ)
第7回	2007年	大連 (中国)
第8回	2009年	スラバヤ (インドネシア)
第9回	2011年	済州 (韓国)
第10回	2013年	台北 (台湾)

### 3. EASTS 台北会議

第10回 EASTS 台北会議は、"Towards a Harmonized Transportation Society" をテーマにして、アジア・太平洋地域から892名が参加し、500本の論文が発表された。

基調講演では、メリーランド大学の Gang-Len CHANG 教授による「アジアの交通専門家への挑戦と提言」、パデュー大学の Fred MANNERING 教授による「道路安全、社会的公平と持続可能な環境：矛盾する目的」、Chi-Kuo MAO 氏による「台湾における公共交通の整備」の3つの講演があった。



写真-1 基調講演の様子

その後、口頭発表セッション、ポスターセッション、スペシャルセッション、パネルディスカッション、EASTSにおける国際的な連携と研究活動の活性化を目的として実施している国際研究グループによる研究プロジェクト (IRG: International Research Group) のセッションが開催された。

台北会議のトピックは、表-2の通り、内容は極めて多岐に渡る。

\*道路・経済社会研究室長 \*\*道路・経済社会研究室 専門情報員 \*\*\*次長 博士 (工学)

表ー2 台北会議のトピックス

トピック	セッション
交通一般	交通計画、データ収集
交通の経済と政策	交通管理、プライシング、資金調達、事業評価、交通需要管理政策、ITS政策、交通政策
交通需要の分析と予測	交通選択モデル、車両保有分析、都市空間における交通行動、交通モード選択モデリング、交通需要予測、アクティビティ分析、ネットワーク分析
物流と貨物輸送	物流と貨物輸送政策、都市内物流、物流ビジネスにおける運営と管理
地域の計画と環境	パーソナルモビリティ、アジアの都市における安全でグリーンな都市内回廊、観光、都市交通、土地利用、QOLと交通、大気汚染、排出、車両のイノベーション
公共交通とノンモータライズド交通	自転車、パトランジット、公共交通、公共交通のサービス分析、バス計画、BRT、交通アクセスとターミナル、歩行者、大量輸送機関と鉄道
高速道路のデザインと維持管理	高速道路、舗装
道路交通工学	道路ネットワーク災害、災害、避難、交通シミュレーション、モデリング、交通流、自動二輪、ITS、交差点、自転車と自動二輪
交通事故と交通安全	交通事故防止、交通事故のリスク分析、アジアにおける交通事故対策、交通安全、運転行動
航空と水上交通	港湾の計画と工学・管理、空港の計画と工学・管理、航空と水上交通の政策、航空と水上交通の運営と管理

スペシャルセッションの一つは、「高速鉄道駅周辺の都市開発に関する国際比較 - 日本、台湾、韓国」をテーマにして、高速鉄道の社会経済的インパクト、駅周辺開発の状況や事例、地域活性化に及ぼす影響等について、日本、台湾、韓国の調査結果が報告された。また、国際研究グループによる研究プロジェクトのセッションにおいても高速鉄道が取り

上げられ、タイ、オーストラリア、中国等、アジア諸国の高速鉄道の現状や計画について報告されていた。2000年代に入り、韓国、台湾、中国で相次いで高速鉄道が開業するとともに、他のアジア諸国でも高速鉄道の整備が計画されている。アジア地域の交通専門家から、高速鉄道整備や沿線開発が高い関心を集めていることが伺えた。

その他のセッションでは、プライシングのセッションが印象的であった。HOVレーンの比較分析、燃料価格の交通への影響、貨物車専用レーンへの課金、有料道路の料金弾力性、等の発表があった。また、データ収集に関して4つのセッションが開催されており、関心が高かった。

会議のセッション全体を通しては、発表されたトピックは多岐に渡るが、アジア地域の交通における課題として、交通渋滞、維持管理、交通安全に対する認識が高いように感じた。

#### 4. おわりに

EASTSの国際会議を通して、アジアにおける交通問題が極めて多様であると感じた。国によって交通問題にも様々な違いがあるが、一方では各国の専門家は予想以上に問題に対する共通の認識を有しているようにも見受けられた。アジア地域の深刻な交通問題に対応するために、研究、実務の情報交換を進めることが重要であると考えた。

第11回EASTS国際会議は、2015年9月11日～14日までフィリピン・セブで開催される予定である。

#### 参考文献

- 1) EASTS, <http://www.easts.info/>
- 2) アジア交通学会 (EASTS-Japan), <http://www.easts.info/eastsjapan/>